

よりおいしい牛タンを消費者に届けるために。利久(宮城県岩沼市)は、牛タン飲食チェーン「利久」を運営する。全国に78店舗を構え、牛タン専門店として店舗数、売り上げ、消費量で全国一を誇る。既存工場が手狭になったことから2016年に本社工場を新設し、三菱電機製のヒートポンプ給湯機「エコキュート」を3台導入した。

同工場では飲食店で提供する牛タンや食肉加工品、総菜、漬物などを加工する。宮城県内で食品管理の国際基準「HACCP」による衛生管理に取り組み、事業者を認証する「みやぎ食品衛生自主管理認証制度(みやぎHACCP)」の最高評価「プレミアム認証」を16年に取得。厳しい衛生管理を徹底してい



～エレクトロヒート技術最前線～ ④

■ 利久 ■

エコキュートで湯切れなし



創業当時から牛タン創業当時から牛タンの食感にこだわり、人の目で部位や大きさを確認しながら1枚ずつスライスする。まな板や包丁をこまめに温水洗浄する必要があり、

1日10トの湯を使う。従来、液化石油ガス(LPG)を燃料にボイラで湯を沸かしていたが、ピーク時の夕方になると湯切れすることがあった。

東日本大震災を経て省エネルギー意識が高まり、13年に社内の使用電力量を一括管理するデマンドシステムを導入。本社工場新設時に大成設備(東京都新宿区)からさらなる省エネ化のためにエコキュートを全面導入した

工場新設を機にエコキュートを全面導入した

ユニット導入を提案された。1(コスト面でも)長い目で見ればプラスになる(鷲尾隆果が出ています)(同)一取締役生産本部とメリットを実感して長」と判断し、全面的に電力に切り替えた。店舗数増に伴い工場隣地を購入済み。鷲尾取締役は「エコキュートの追加導入やさらにCに保温。最低貯湯量を下回ると自動的に湯を沸かし、ピーク時に産力増強に加えて省エネ推進にも期待がかか

素(CO₂)排出量は(仙台・苦瓜朋子)

【事業所概要】▽所在地 宮城県岩沼市吹上2の3の32、02223・299・3440
 0▽主要生産品目 牛タンや食肉加工品、総菜類
 1▽年間エネルギー使用量 458万kWh(原油換算、17年度)
 2▽年間CO₂排出量 899ト(17年度)